

令和7年度 性教育全体計画

関係法規・法的根拠 ・学習指導要領 ・東京都人権施策推進指針 ・東京都教育委員会教育目標 ・豊島区教育委員会教育目標	学校教育目標 ○自ら学び深く考える生徒 ○思いやりの心と強い意志をもつ生徒 ○健康と明るく礼儀正しい生徒	「性教育で目指す生徒の姿」 1. 正しい性知識をもち、自らの行動を適切に判断し、行動できる生徒 2. 自他の生命の尊さを大切にできる生徒
行動指針 ・正しい性情報の提供 ・性に関する相談体制の充実 ・発達段階に応じた学校全体での取組 ・自分の身体を大切にする教育の充実 ・保護者に対する啓発活動	性教育の目標 ①心身の発育発達や変化など人間の性の成熟について理解するとともに、発達途上にある自己の性を受容し、自他を大切にしようとする心情や態度を育てる。 ②男女の心身の特質を基に男女が互いに相手を理解し、人格を尊重する心情や態度を育てる。また、性別によらず良好な信頼関係を築いていくため、より適切な意思決定に基づく行動選択ができる能力や態度を育てる。 ③生き方は多様であることを理解し、家庭や社会において期待される役割や自己の将来の生き方について考えるとともに、社会における性的な事象を見つめて、家庭や社会の一員として適切な判断や意思決定、行動選択ができる態度や能力を培い、実践力を育てる。	【子どもをとりまく現状】 ①社会環境の面から ・インターネットによる有害な性情報の氾濫 ・性感染症に対する危機意識の低下 ②子どもの面から ・正しい科学的な知識の不足 ・性に関して身近に相談できる人がいない ・二次性徴の発現が早まっている ③大人の面から ・性に関するモラルの低下 ・性感染症などの増加
性教育を全教職員の共通理解の下に、組織的、計画的に行う。そのために性教育を進める意義や必要性、実施の根拠等を教職員が認識し、発達段階に応じて継続的に行う。		

学年の指導目標		
第一学年	第二学年	第三学年
自分自身に関すること 生命尊重、自他の尊重(道徳) 男女の人間関係 男女相互の理解と協力(学級活動) 家族や社会との関連 科学的な認識(各教科)	自分自身に関すること 生命尊重、自他の尊重(道徳) 男女の人間関係 男女相互の理解と協力(学級活動) 家族や社会との関連 科学的な認識(各教科)	自分自身に関すること 生命尊重、自他の尊重(道徳) 男女の人間関係 男女相互の理解と協力(学級活動) 家族や社会との関連 科学的な認識(各教科)

指導内容			
体の発育発達から	心理的な発達から	男女の人間関係から	社会的な面から
○思春期の身体の変化について ○月経・射精について	○思春期の心理的特徴について ○性に関わる不安や葛藤について ○性衝動と性行動について	○多様な男女関係について ○特定の異性との関わりについて(デートDV) ○性行動について ○エイズおよび性感染症について	○性役割について ○性の情報環境について ○性的な問題行動について